

## 審査経過と講評

### 1. 審査経過・総評

カリタス幼稚園新園舎改築計画は、2016年に事前調査を開始し、2017年に基本構想・基本計画の検討に着手、2018年12月に「愛の中で自由に大きく」と題する新園舎建設のための提言書が取りまとめられました。

これをもとに指名プロポーザル方式により設計者を選定することになりました。指名にあたっては、幼稚園の設計で実績のある建築家、近年注目される建築作品を発表している若手建築家など、幅広い観点から候補者をあげ、その中から提案を聞いてみたいという意見の多かった10者を選びました。応募を打診したところ、次の9者から提案意思があるとの回答を頂きました。

A 環境デザイン研究所

B SOU 建築設計室一級建築士事務所

C シーラカンス K&H

D 藤木隆男建築研究所

E Atelier Asami Kazuhiro

F MAMM DESIGN

G ジャクエツ環境事業一級建築士事務所

H デザインヌーブ一級建築士事務所

I 近藤道男建築設計室

(順不同)

各者に提言書および関連資料を送付し、現地説明会を行いました。その結果、全者から技術提案書及び実績作品の提出を頂きました。

### <一次審査>

一次審査では、事前に各審査委員が提出資料に目を通した上で審査委員会に臨み、評価したい点について意見を述べ合いました。提言書の内容や建設条件の理解度、カリタス幼稚園らしさ、小学校の教育環境の確保、スクールバス、中高等部を含めた学園全体の一体感、将来の発展性等、多面的に各案の理解に努めました。各者の提案は、子どもの環境のとらえ方、幼稚園の空間として大事にすべきこと、モンテッソーリ教育の特質を生かす保育空間、木造による温かみのある場づくり、新鮮な幼稚園らしい形態等、それぞれに意欲の感じられるもので、議論を通じてカリタス幼稚園の目指すものを再確認する機会となりました。意見を出し尽くしたところで参考投票を行い、その集計結果をもとにさらに議論を深めた結果、B、D、F、Iの4者に、2次審査のプレゼンテーションを求めることが、全会一致で決定されました。

### <二次審査>

二次審査では、各者からパワーポイントによるプレゼンテーションと、追加で用意して頂いた簡易模型をもとに提案の説明を受け、質疑応答を行いました。

その後、審査に入り、各者の説明内容や応答の様子について感想や意見を述べ合い、改めて評価すべき点、課題等について共通理解を図りました。審査においてはカリタス幼稚園としての提案性の評価とともに、単なる設計者ではなく、様々なアイデアと柔軟な姿勢をもって、職員や学園と一体になって新園舎計画を考えてくれるよきパー

トナーとなってもらえるかという点を重視しました。加えて、小学校と合わせた総合的な教育環境の確保と向上、将来の変化に対する自由度等について議論を重ねました。その結果、B 者と I 者の 2 者に絞られ、評価の観点が違うためさらに熟考を重ねた結果、最終的に次の通り決定致しました。

入 選 SOU 建築設計室 一級建築士事務所

次 点 近藤道男建築設計室

短期間にもかかわらず、基本構想を理解され、カリタス幼稚園の目指す教育を理解され、難しい条件のもと魅力的な提案をして頂いた 9 者の応募者の皆様には、心から敬意と謝意を表します。

## 2. 個別評

プレゼンテーションで説明を受けた 4 者の提案について

B 者 SOU 建築設計室一級建築士事務所

幼稚園を敷地西側に配置し、園舎までのアプローチに森を配し、小学校にとっても豊かな環境を提供する提案です。小学校の校舎と運動場の一体感、職員室からの見通しがよい点も評価されました。園舎は子どもたちを迎え入れるように配置され、モンテッソーリ教育についてよく考えられた自由度の高い保育室、特色ある図書・音楽・図工・宗教室等が、中庭を囲み一体的に配置され、子ども達を活動に誘う連続的な空間構成が魅力的です。説明、応答の様子から、協働するパートナーとして信頼感を持ちました。

D 者 藤木隆男建築研究所

カリタス通り沿いに園舎を配置し、小学校と幼稚園の間にバスロータリーを設ける配置案です。保育室をホールと組み合わせ円弧上に配し、内部空間、外観のデザイン等、完成度の高さが感じられました。一方、小学校校庭の広さや視認性、園庭の広さ等に改善が求められ、条件の変化や話し合いの中で出される要望等に柔軟に対応する自由度が少ないことが懸念されました。

F 者 MAMM DESIGN

円を3つ連ねた屋根形状の園舎をカリタス通り沿いに配置しています。園舎は平屋主体の木造で、屋内外が連続した空間は明るく開放的で、スケールを大事にしながら子どもの世界が提案されています。小学校の校舎と運動場のつながりや、将来計画の自由度にやや難があり、一緒に計画を考えていくパートナーとして、積極的に説明する姿勢が十分には感じられませんでした。

I 者 近藤道男建築設計室

カリタス通り沿いに2階建ての園舎をコンパクトに配置することにより、小学校の校庭面積を広く確保し、将来の増築の可能性や小学校の改築まで見通した提案です。中高も含めた総合的キャンパス計画は高く評価されます。カリタス幼稚園として、モンテッソーリ教育による自発的な子どもの活動の場に関するアイデアや提案について、踏み込んだ記述がほしい印象がありました。

## 3. 審査日程

2018年12月10日 提案意思確認書提出期限

2018年12月19日 現地説明会  
2019年02月22日 技術提案書等提出期限  
2019年03月07日 第一次審査  
2019年03月19日 第二次審査(ヒアリング)  
2019年04月11日 入選提案・次点提案決定  
2019年04月18日 審査結果通知書発送3.総評